



2011年3月期 中間決算説明会

大太平洋金属株式会社

2010年11月19日

ホームページURL : <http://www.pacific-metals.co.jp>

お問い合わせ先 : 総務部(IR担当)

TEL : 03-3201-6681

目 次

I 11.3期 中間決算及び 11.3期 通期見通し

◆11.3期 中間決算	
1. 概要	3
2. ニッケル事業	4
3. 連結経常損益の分析〔09.9実績対10.9実績〕	5
◆11.3期 通期見通し	
1. 概要	6
2. ニッケル事業通期見通し	7
3. 国別販売見通し〔10.3実績対11.3予想(新)〕	8
4. 連結経常損益の分析〔10.3実績対11.3予想(新)〕	9

II 今後のニッケル需給の見通しについて

◆今後のニッケル需給の見通しについて	
1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移	11
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給	12
3. 地域別ステンレス・ニッケル需給見通し	13

III 経営課題への取組み

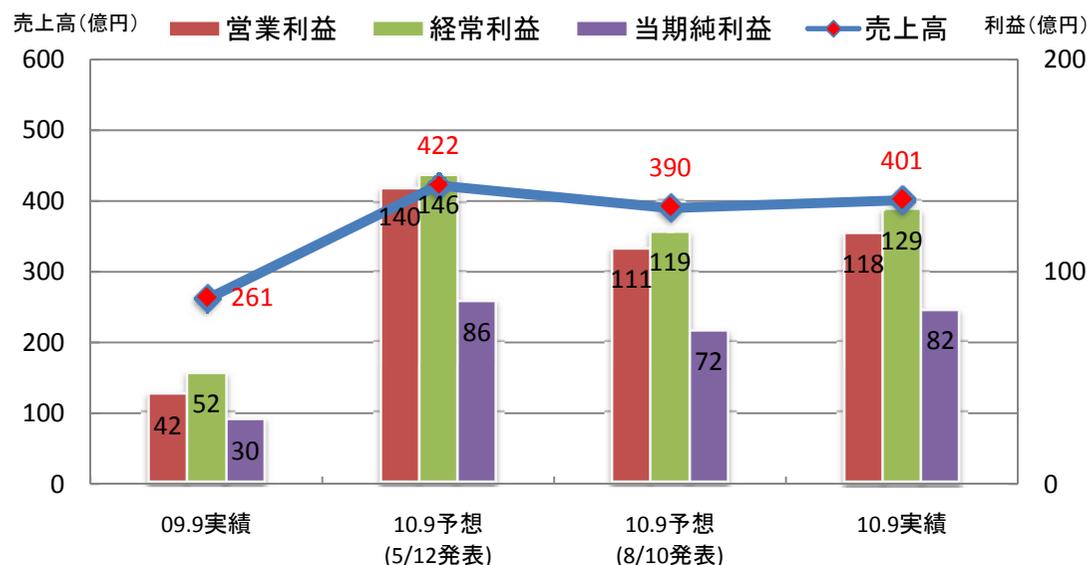
◆投資内容	15
◆安定した鉱石調達への取組み	
1. ニッケル鉱石安定調達策	16
2. 湿式製錬への取組み	17



**I 11.3期 中間決算及び
11.3期 通期見通し**

◆11.3期 中間決算

1.概要



TOPICS

◇ ニッケル事業

急激な円高の進行や、輸出先のアジア新興国等で在庫調整による需給の緩みがあるも、影響は限定的。

全般的には概ね堅調。

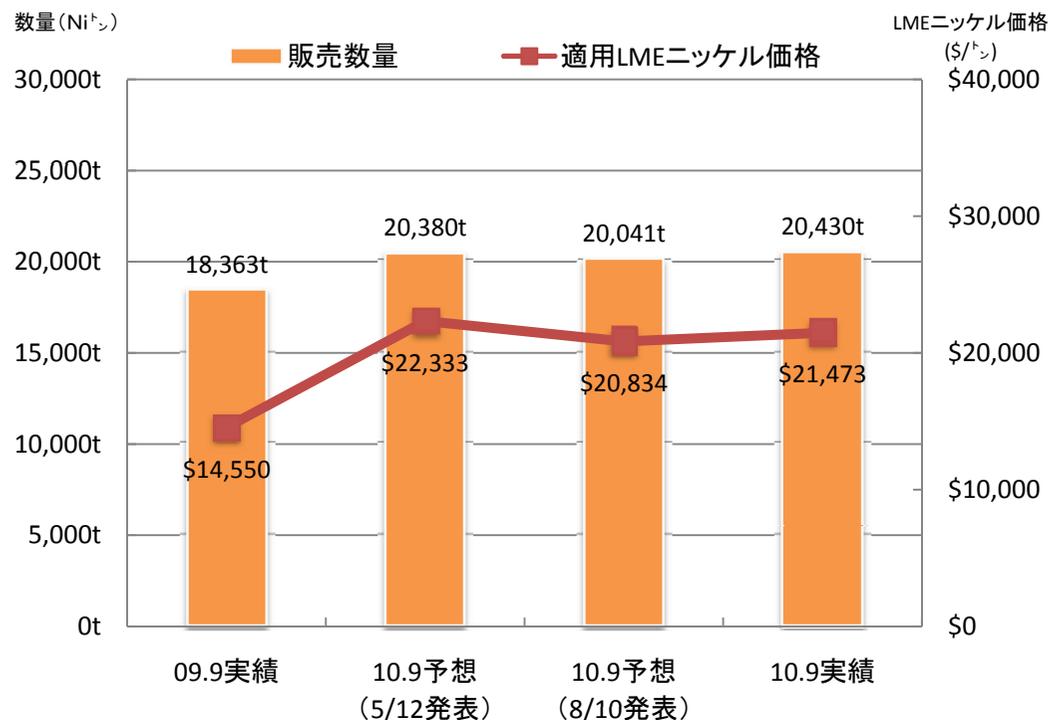
◇ その他

電力卸事業やガス事業の売上高及び営業利益が順調。

金額単位:百万円	09.9実績		10.9予想(5/12発表)		10.9予想(8/10発表)		10.9実績			対前年同期比(%)	対8/10発表予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	構成比率		
売上高	26,112	—	42,232	—	39,079	—	40,142	—	100.0	53.7	2.7
ニッケル事業	25,256	—	—	—	—	—	39,406	—	98.2	—	—
その他	943	—	—	—	—	—	862	—	2.1	—	—
連結に伴う調整	△87	—	—	—	—	—	△126	—	△0.3	—	—
営業利益	4,246	16.3	14,029	33.2	11,146	28.5	11,800	29.4	100.0	177.9	5.9
ニッケル事業	4,225	16.2	—	—	—	—	11,757	29.3	99.6	—	—
その他	9	0.0	—	—	—	—	33	0.1	0.3	—	—
連結に伴う調整	12	0.1	—	—	—	—	10	0.0	0.1	—	—
経常利益	5,253	20.1	14,668	34.7	11,926	30.5	12,953	32.3	—	146.6	8.6
当期純利益	3,034	11.6	8,629	20.4	7,235	18.5	8,285	20.6	—	173.1	14.5
(設備投資額)	6,216	—	—	—	—	—	493	—	—	△92.3	—
(減価償却費)	1,663	—	—	—	—	—	2,340	—	—	40.7	—

◆11.3期 中間決算

2.ニッケル事業



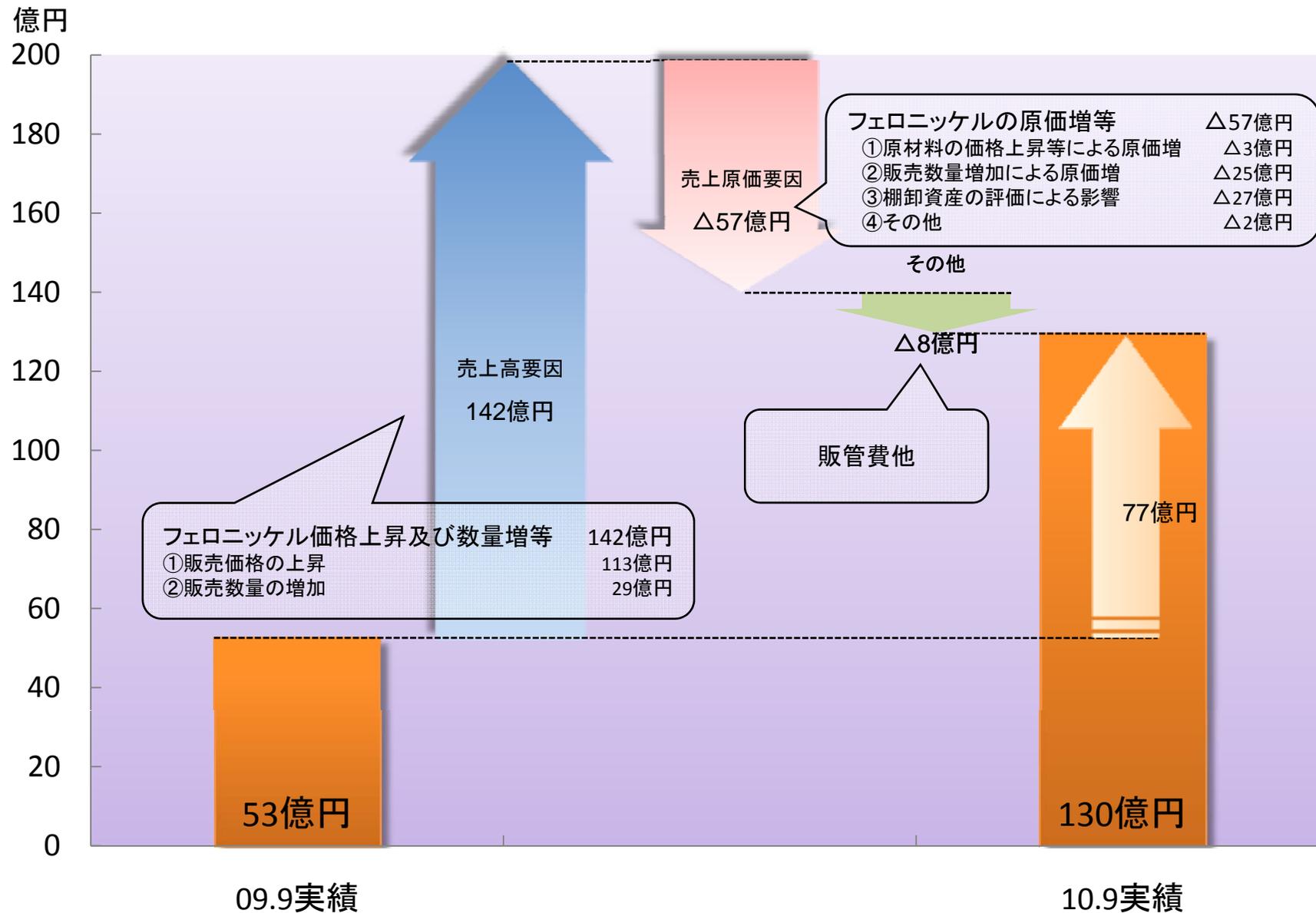
TOPICS

- ① 販売数量
ステンレス鋼業界の原料価格先安感による一部在庫調整があるも、影響は限定的。国内・輸出向けともに増加し、全体で11.3%増。
- ② 適用LMEニッケル価格
当社適用LMEニッケル価格は、前年同期比47.7%上昇となり、販売価格を押し上げ。
\$21,473/トン、\$9.74/lb。
- ③ 適用為替
為替は¥88.74/\$と前年同期比¥6.13/\$の円高となり、販売価格を押し下げ。

	09.9実績	10.9予想 (5/12発表)	10.9予想 (8/10発表)	10.9実績	対前年同期比 (%)	対8/10発表 予想比(%)
販売数量(Niトン)	18,363	20,380	20,041	20,430	11.3	1.9
適用LME(\$/トン)	14,550	22,333	20,834	21,473	47.7	3.1
【適用LME(\$/lb)】	【6.60】	【10.13】	【9.45】	【9.74】	—	—
適用為替(¥/\$)	94.87	89.62	90.53	88.74	△6.5	△2.0

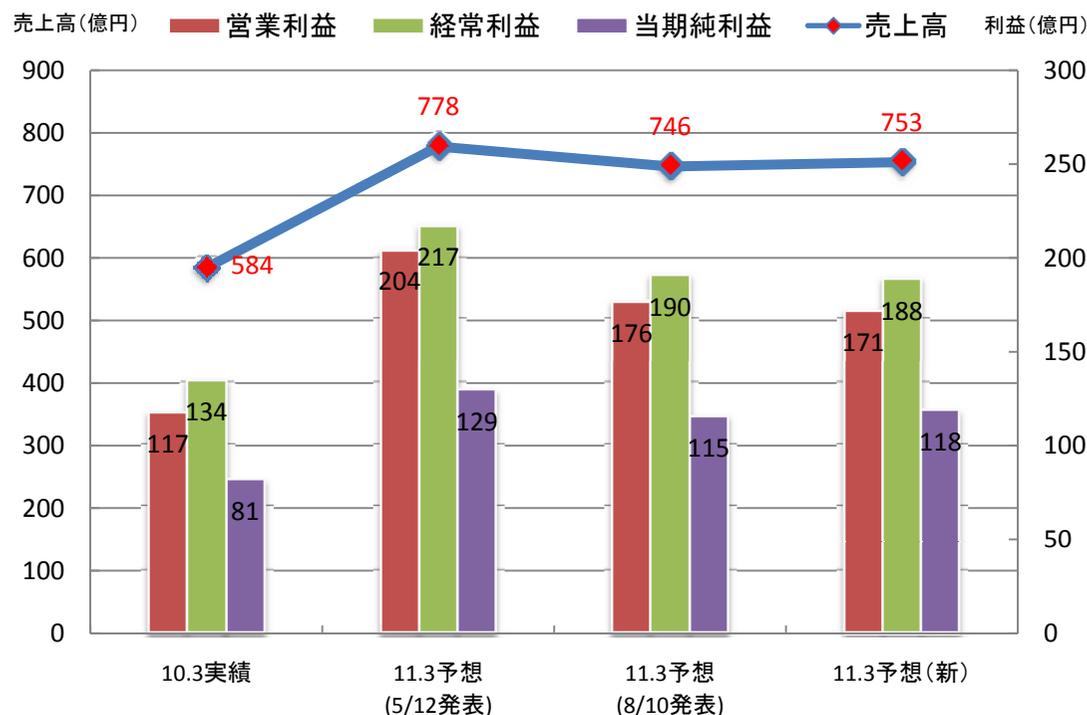
◆11.3期 中間決算

3.連結経常損益の分析〔09.9実績対10.9実績〕



◆11.3期 通期見通し

1.概要



TOPICS

◇ ニッケル事業

先進国の経済不安定及びドル安の影響あるが、新興国は高成長の継続。
LMEニッケル価格において低変動の継続を見込む。
一方、為替は円高の進行継続が見込まれる。

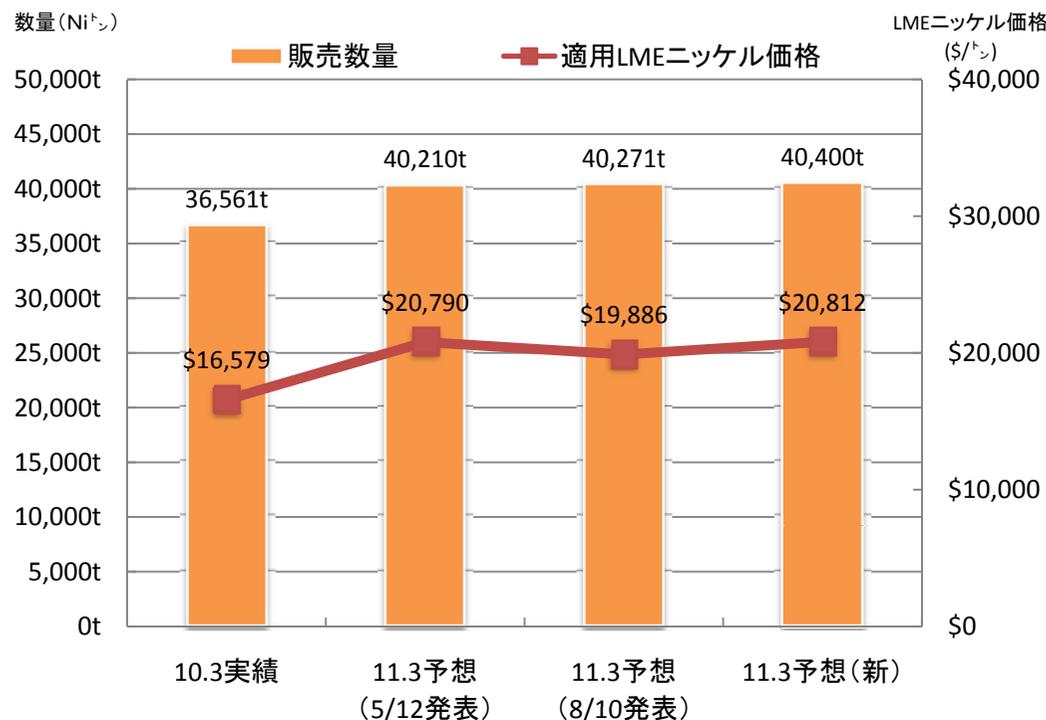
◇ その他

電力卸事業やガス事業の売上高及び営業利益が順調。

金額単位:百万円	10.3実績		11.3予想(5/12発表)		11.3予想(8/10発表)		11.3予想(新)		対前期比 (%)	対8/10発表予想比(%)
	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率	金額	利益率		
売上高	58,490	—	77,846	—	74,636	—	75,359	—	28.8	1.0
営業利益	11,774	20.1	20,460	26.3	17,661	23.7	17,111	22.7	45.3	△3.1
経常利益	13,441	23.0	21,788	28.0	19,096	25.6	18,894	25.1	40.6	△1.1
当期純利益	8,140	13.9	12,909	16.6	11,529	15.5	11,816	15.7	45.2	2.5
(設備投資額)	8,866	—	—	—	—	—	9,104	—	2.7	—
(減価償却費)	3,564	—	—	—	—	—	5,576	—	56.5	—

◆11.3期 通期見通し

2. ニッケル事業通期見通し



TOPICS

①販売数量

アジア新興国等の経済成長及び先進国の緩い景気回復を背景に好調な需要を維持。

前期比10.5%増の40,400トンとなる見込み。

②適用LMEニッケル価格

適用LMEニッケル価格は第2四半期まで堅調に推移した。

第3四半期以降、概ね堅調に推移すると見込む。

前期比25.5%増の\$20,812/トンとなる見込み。

③適用為替

為替は¥86.69/\$と前期比¥6.08/\$の円高となり、販売価格を押し下げる見込み。

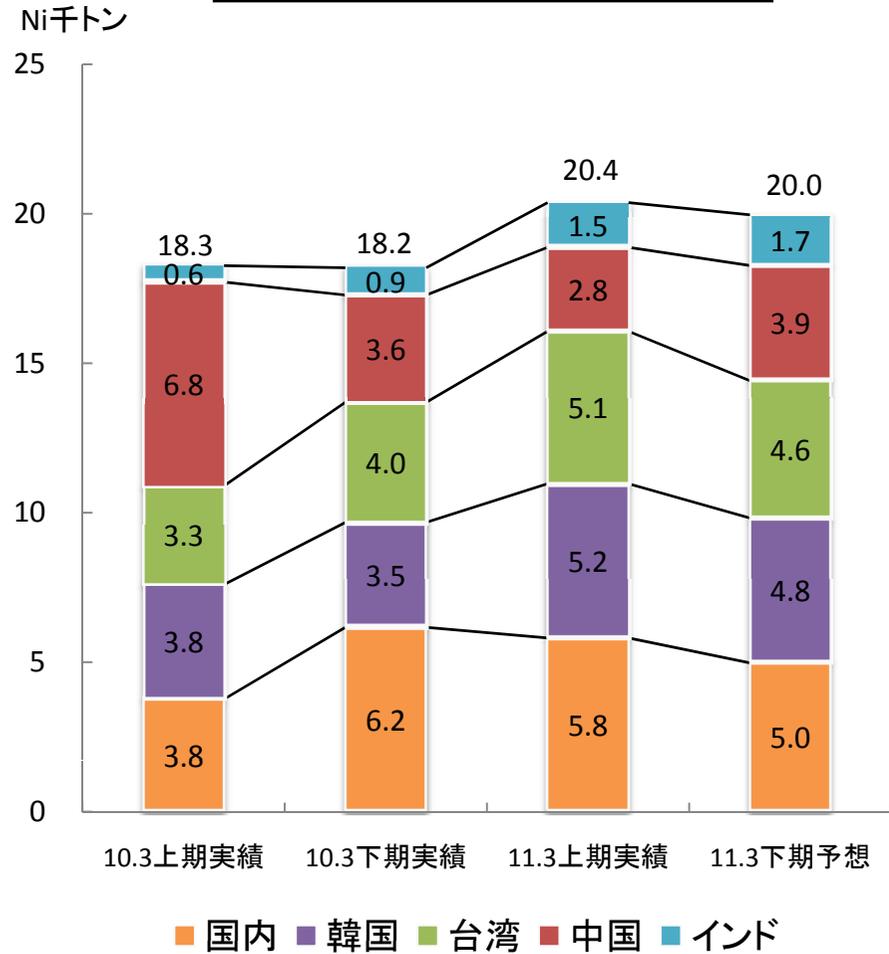
	10.3実績			11.3予想 (5/12発表)	11.3予想 (8/10発表)	11.3予想(新)			対前期比 (%)	対8/10発表 予想比(%)
	上期	下期	通期	通期	通期	上期	下期	通期	通期	通期
販売数量(Niトン)	18,363	18,198	36,561	40,210	40,271	20,430	19,970	40,400	10.5	0.3
適用LME(\$/トン)	14,550	18,629	16,579	20,790	19,886	21,473	20,128	20,812	25.5	4.7
【適用LME(\$/lb)】	【6.60】	【8.45】	【7.52】	【9.43】	【9.02】	【9.74】	【9.13】	【9.44】	—	—
適用為替(¥/\$)	94.87	90.65	92.77	89.62	90.06	88.74	84.63	86.69	△6.6	△3.7

◆11.3期 通期見通し

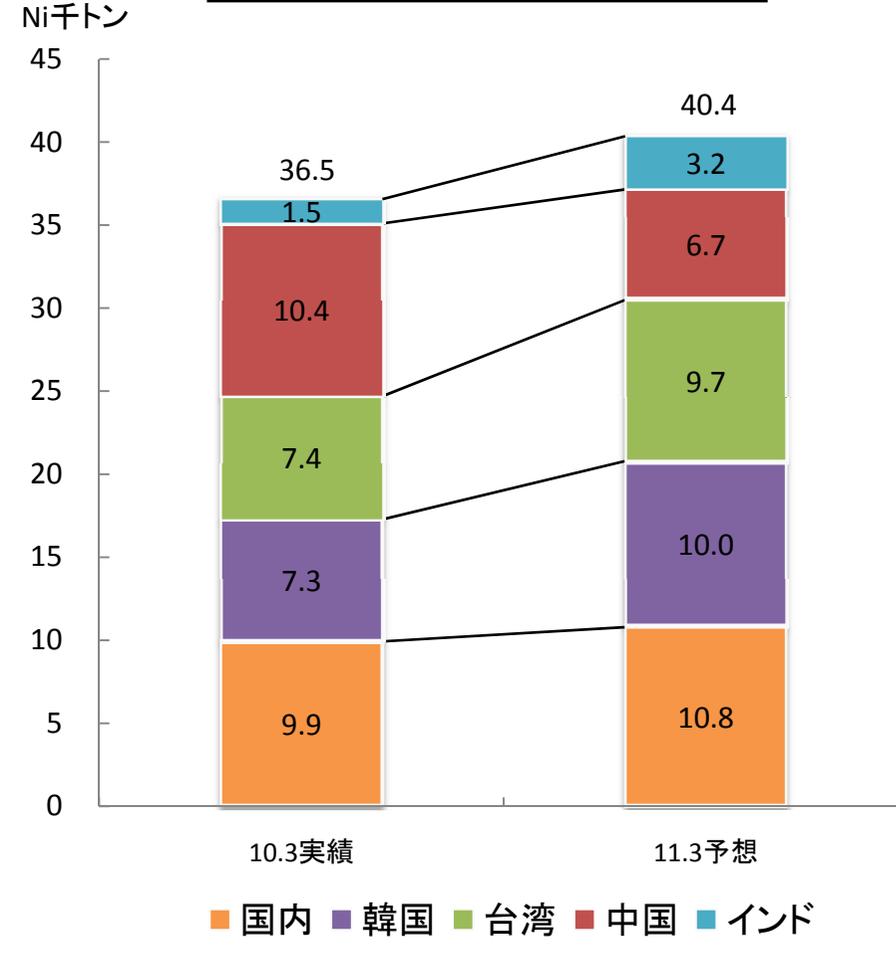
3.国別販売見通し〔10.3実績対11.3予想(新)〕

当社のフェロニッケル販売数量(国別)実績

10.3期実績～11.3期予想推移(半期)



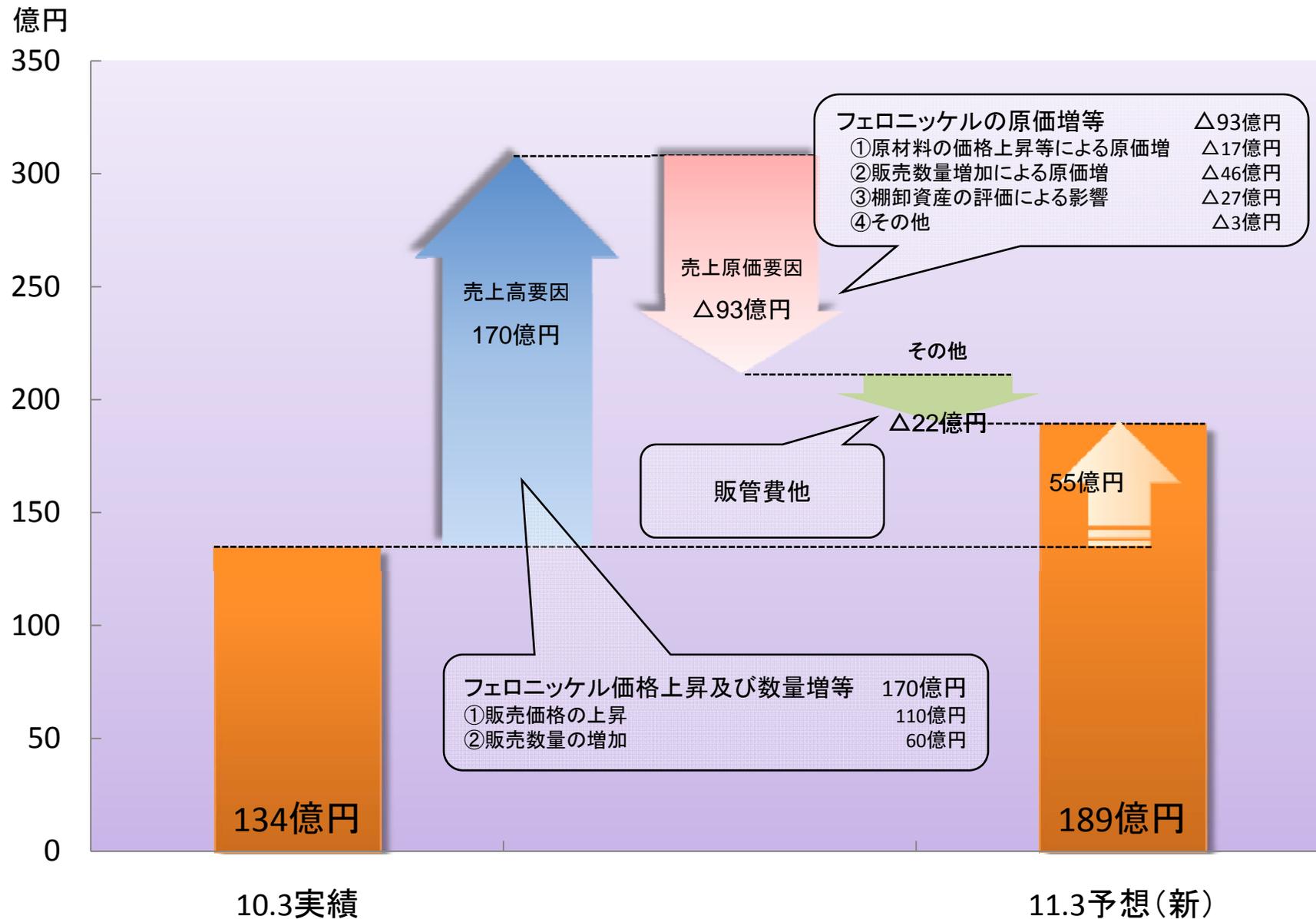
10.3期実績～11.3期予想推移(通期)



輸出比率(数量ベース)
72.9% ⇒ 73.3%

◆11.3期 通期見通し

4.連結経常損益の分析〔10.3実績対11.3予想(新)〕

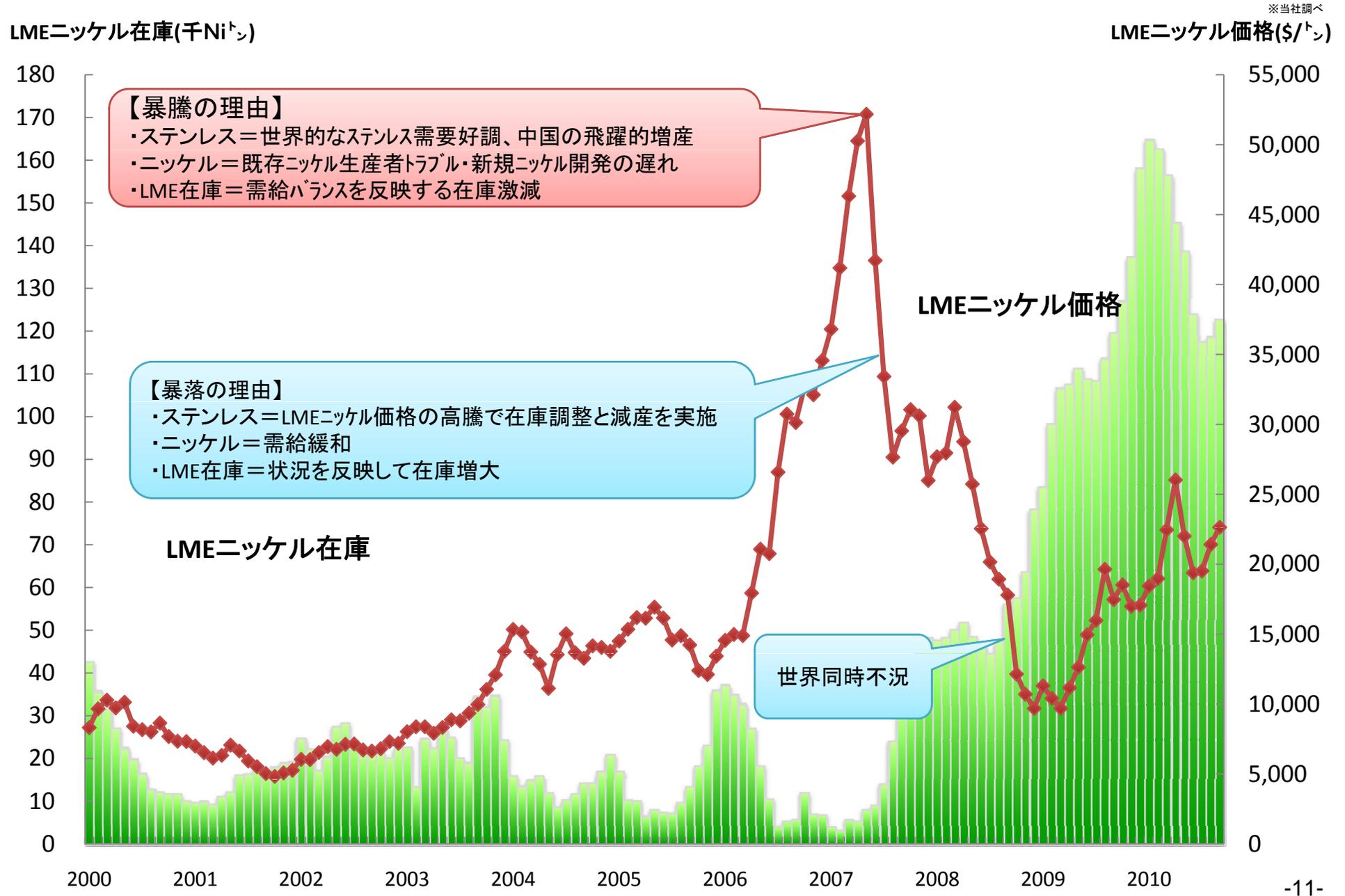




Ⅱ 今後のニッケル需給の見通しについて

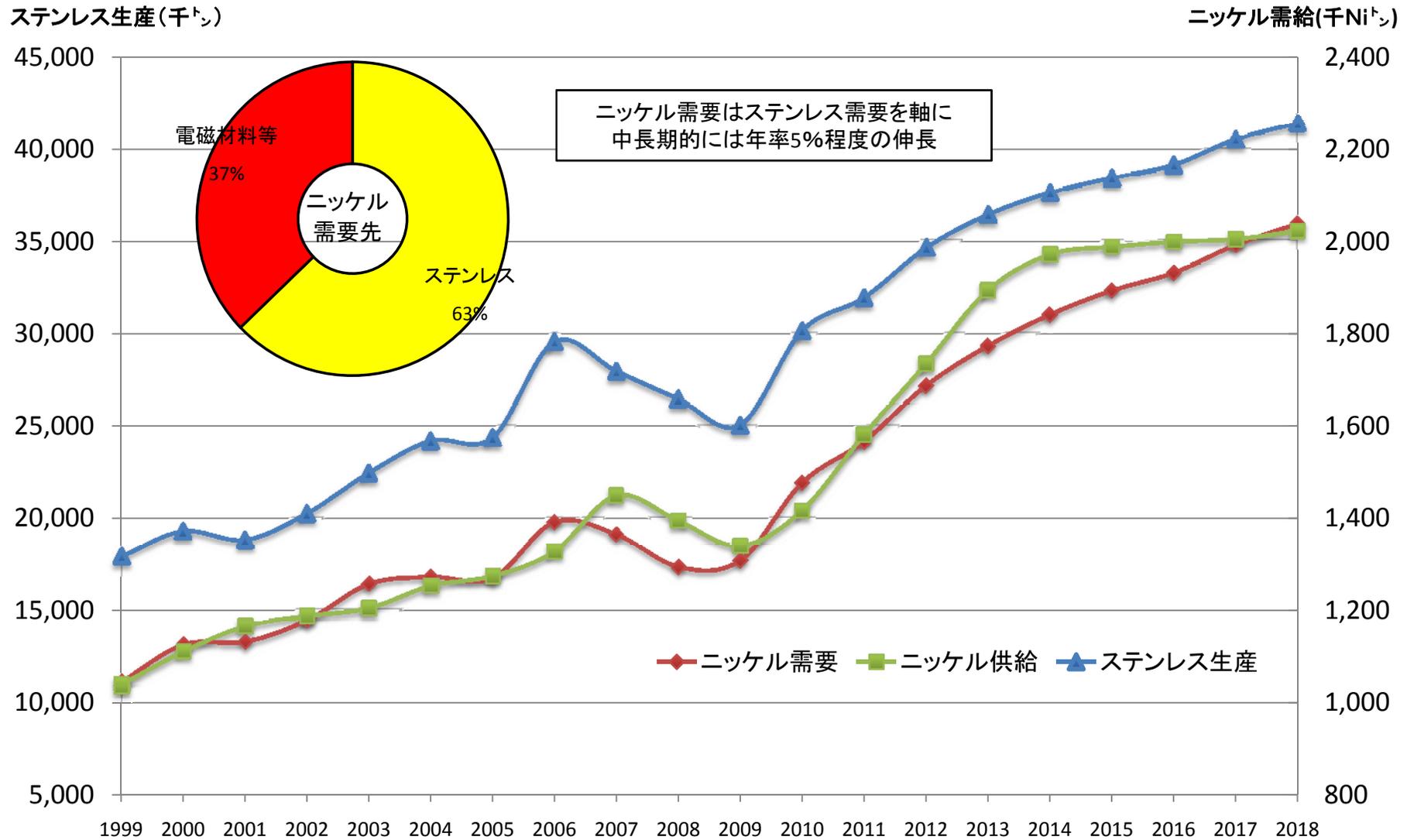
◆今後のニッケル需給の見通しについて

1. LMEニッケル価格(CASH)とLMEニッケル在庫数量推移(2000年～2010年)



◆今後のニッケル需給の見通しについて

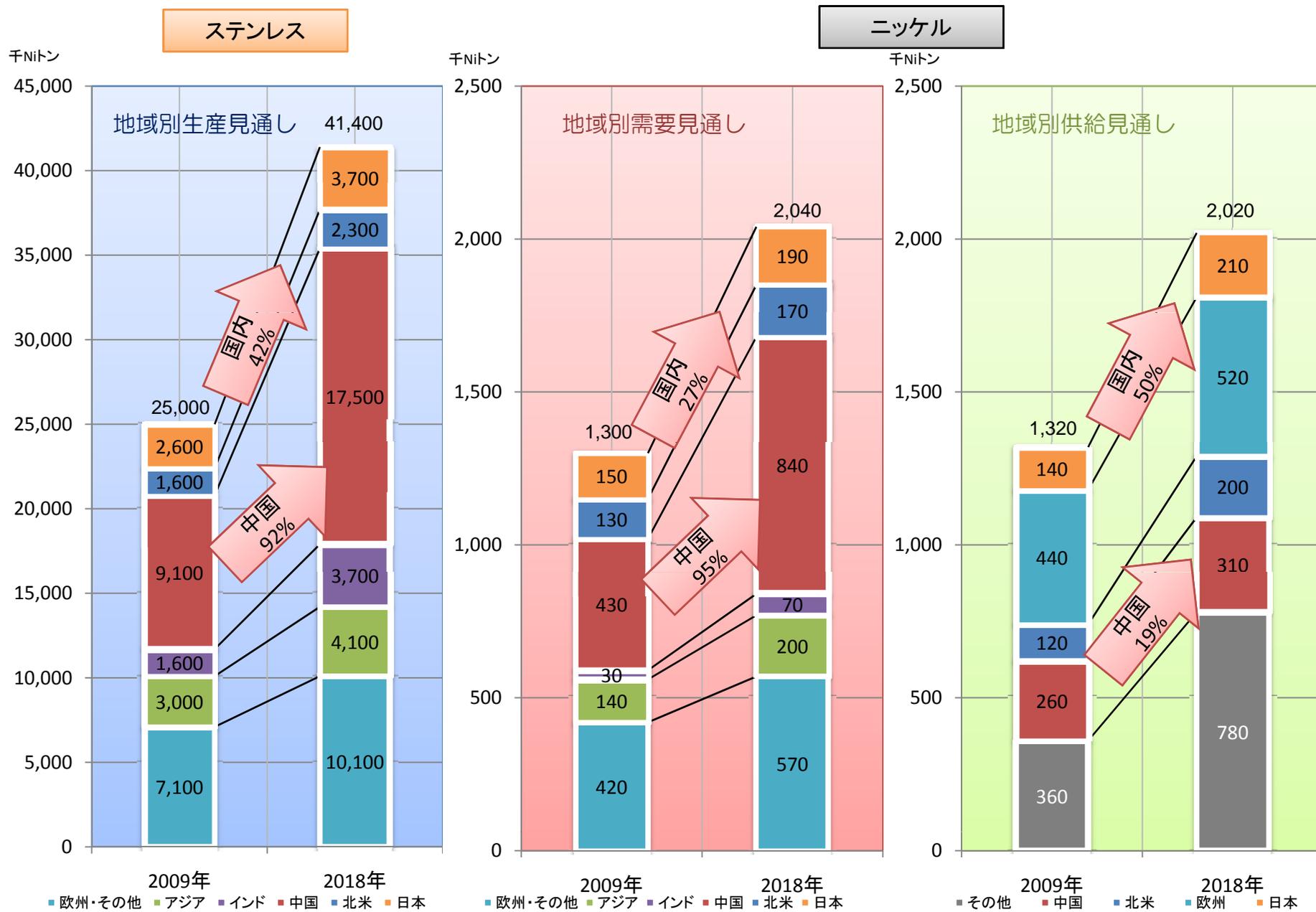
2. 世界のステンレス生産とニッケル需給



※当社調べ

◆今後のニッケル需給の見通しについて

3.地域別ステンレス・ニッケル需給見通し



※当社調べ

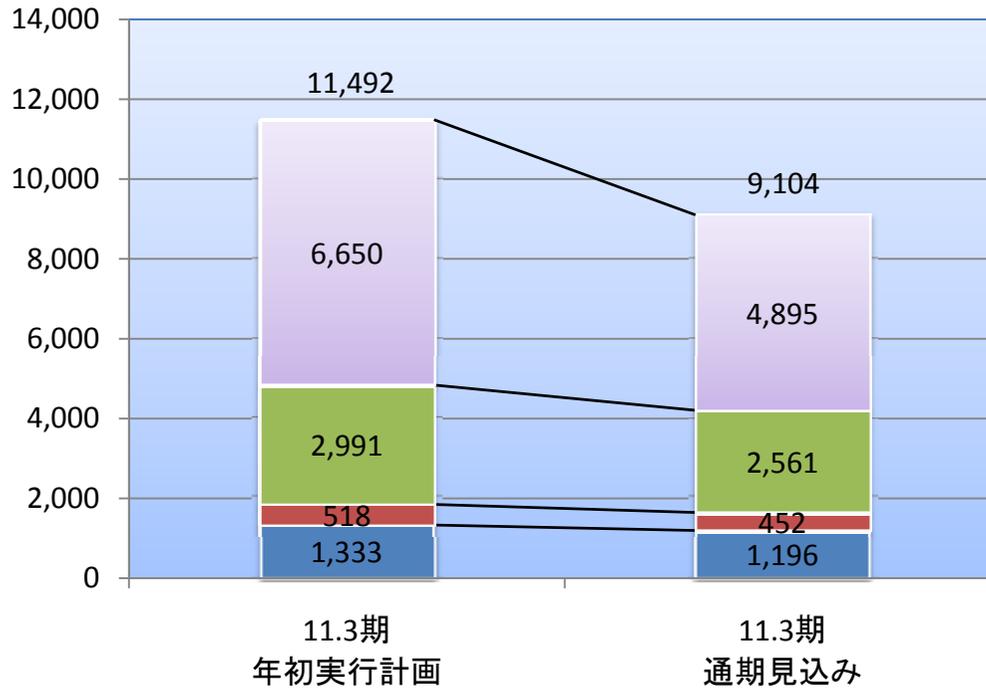


Ⅲ 経営課題への取組み

◆投資内容

単位:百万円

PAMCO24投資計画と通期見込み比較



■ ①労働安全衛生 ■ ②環境対策 ■ ③維持更新投資 ■ ④資源調達
単位:百万円

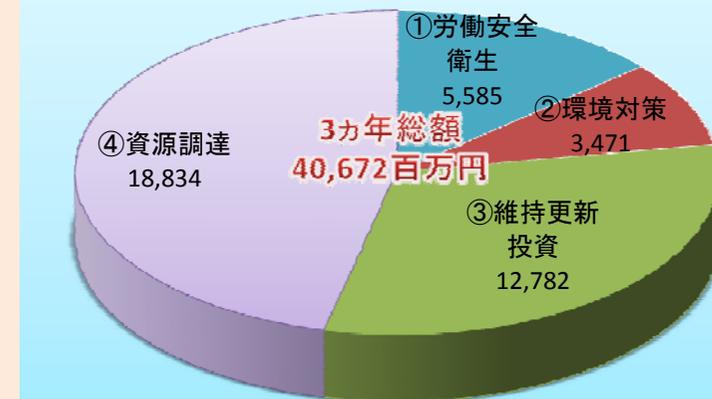
	年初実行計画	通期見込み	比較
①労働安全衛生	1,333	1,196	△137
②環境対策	518	452	△66
③維持更新投資	2,991	2,561	△430
④資源調達	6,650	4,895	△1,755
合計	11,492	9,104	△2,388

<参考>

-PAMCO24(中期経営計画)における投資内容-

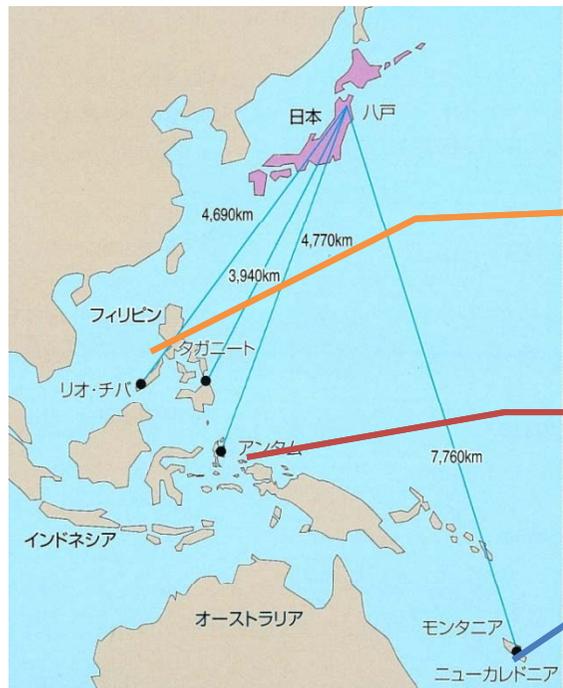
- ①労働安全衛生の充実にかかる投資 約56億円
- ②環境対策投資(温暖化、エネルギー転換他) 約35億円
- ③定期的な維持更新等及び合理化投資 約127億円
(うち6号炉改修工事として 約69億円)
- ④資源安定調達・Ni資源有効利用に関する投資 約188億円

3カ年投資内訳



◆安定した鉱石調達への取組み

1. ニッケル鉱石安定調達策



- <フィリピン>**
 - ・リオ・チバ・ニッケル社及びタグニート社と新鉱区の探鉱開発推進
 - ・他社新鉱区での買鉱、探鉱、開発に関する支援
 - ・2008年4月フィリピン事務所開所
 - ・リオ・チバ・ニッケル社—36%の出資
 - ・タグニート社—33.5%の出資
- <インドネシア>**
 - ・アンタム社鉱山での技術支援
 - ・新鉱区での探鉱開発支援
 - ・2008年10月ジャカルタ事務所開所
 - ・アンタム社—出資(インドネシア政府65%)
- <ニューカレドニア>**
 - ・新鉱区での探鉱支援と開発

I 探鉱・開発の早期実現

開発エリアにおける集中的な探鉱強化。供給先を含め、技術面・資金面の支援も。

II 既鉱山からの調達

安定的な調達を維持するための関係強化。資源国の輸出規制に関する対応策の確立。

長期購入契約締結 (随時更新)

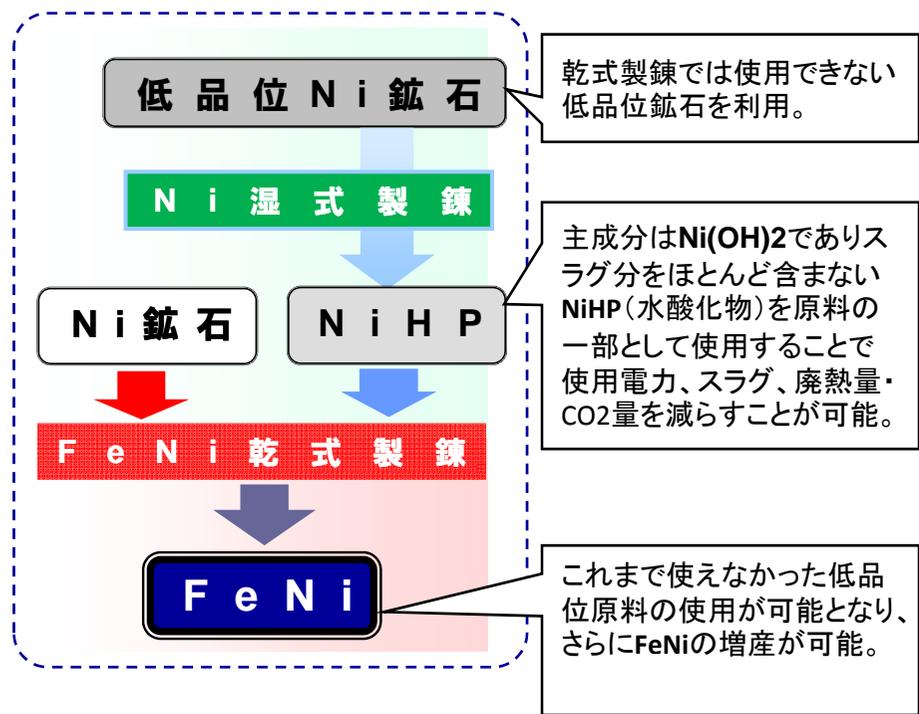
購入先	09年 3月期	10年 3月期	11年 3月期	12年 3月期	13年 3月期	14年 3月期	15年 3月期	16年 3月期	17年 3月期
<フィリピン> リオ・チバ・ニッケル社	08年1月～12年12月 (5年間)								
<フィリピン> タグニート社 UPDATE	01年1月～10年12月 (10年間)			11年1月～15年12月 (5年間) (契約更新)					
<フィリピン> カグジャナオ社 NEW	11年1月～15年12月 (5年間)								
<インドネシア> アンタム社	07年6月～14年5月 (7年間)								
<ニューカレドニア> モンタニア社	06年4月～16年3月 (10年間)								

◆安定した鉍石調達への取組み

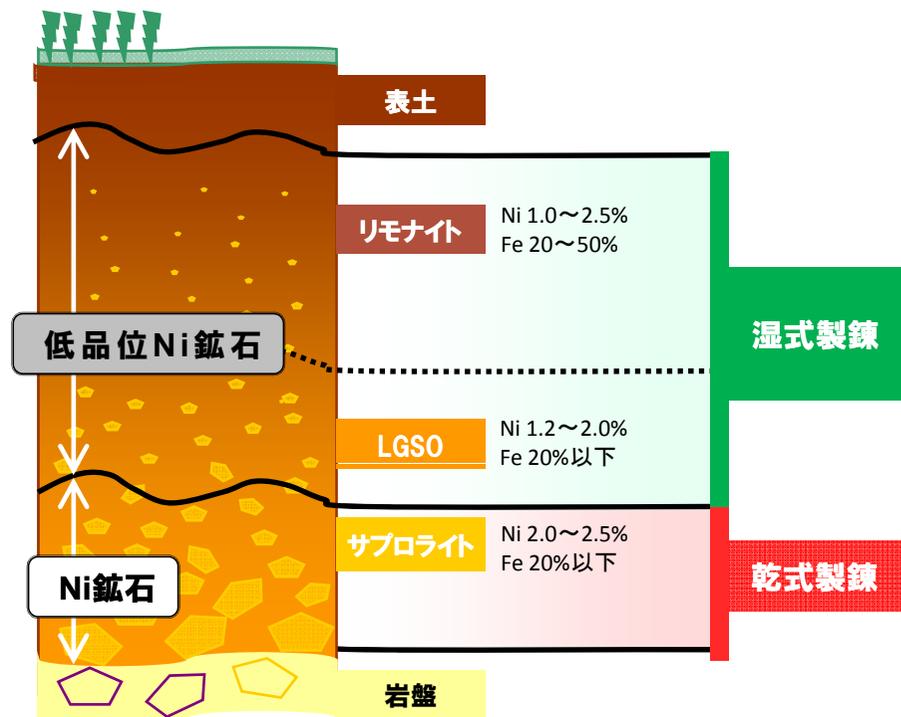
2. 湿式製錬への取組み-1

湿式製錬とは、化学処理によるニッケルの濃縮・抽出方法。
 現地山元で湿式製錬し、品位を上げた中間産品を八戸で乾式製錬することにより低品位鉍石を活用可能。

①位置付け



②酸化ニッケル鉍石別製錬法



◆安定した鉱石調達への取組み

2. 湿式製錬への取組み-2

<当社独自の常圧浸出技術確立へ向け順調に進行中>

11.3期 目標	運転ノウハウ・処理条件の確立 パイロットプラントにより計画されている鉱石処理量等の達成
12.3期 目標	パイロットプラントによる常圧浸出技術の確立

鉱石スラリータンクとNi浸出反応装置



~10.3期

パイロットプラントの完成
(投資額88億円)

11.3期

- 硫酸使用による中間製品実証試験開始
- 各種点検方法の確立

~12.3期

- 中間製品化の確立
- 当社常圧浸出法の確定
- 環境基準のクリア
- 各種点検方法の確立

将来構想

- FeNi製造時のエネルギー使用量、CO2ガス発生量、スラグ発生量の低減化
- 既存の乾式設備を使用したまま、FeNiを増産

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。

また、本資料に記載されている将来の予想等については、現時点で入手された情報に基づくものであり、今後、発生する状況の変化により実際と異なる結果となることがあります。

従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。

本資料を利用した結果として生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関する著作権、商標権その他すべての知的財産権は、当社に帰属します。